

第26期 事業報告書
【令和5年4月1日～令和6年3月31日】

一般社団法人東京青色申告会連合会

I. 概況報告

1. 会員数等

- (1) 令和6年4月1日現在
- | | |
|--------------|---------------|
| 会員（地区青色申告会）数 | 47会 |
| その構成する正会員数 | 119,872人 |
| | (前年比 3,410人減) |
- 【参考】準会員を含む会員数 131,639人
(前年比 3,815人減)

*1 総会における会員（地区会）の議決件数については、定款第16条において、所属構成員数によりその個数を定めている。また、その所属構成員数については、定款施行規則第11条において、毎年4月1日現在における会員割会費負担数と定めている。したがって、4月1日現在の会員数等を報告している。

2. デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

- (1) 令和3、4年度における常任役員会から企画室への付託事項「青色申告会におけるDXの推進について」に対する答申に基づき、令和5年6月28日に開催した定時総会終了後、「aairoDX推進宣言式」を開催した。
- (2) 専務・事務局長会議において、青色申告会のデジタル化、地区会DXの事例について、情報共有と意見交換を行った。
- (3) 東青連から地区会への公文書案内や、地区会から東青連への回答方式を東青連ネット（一部Googleフォーム）を利用して行うことに統一した。

3. 定時総会等

- (1) 監査会の開催
- ① 令和5年5月12日、「年度末監査会」を開催し、令和4年度事業及び会計の執行状況について、監事による監査を受けた。
 - ② 令和5年11月6日、「中間監査会」を開催し、令和5年度上半期分の事業及び会計の執行状況について、監事による監査を受けた。
- (2) 第25回定時総会、退任役員記念品贈呈式及びaairoDX推進宣言式の開催
- ① 令和5年6月28日、東京青色申告会館において第25回「定時総会」を開催し、事業報告書案及び収支計算書案、役員補充選任案を含む全議案の承認を得た。

- ② 定時総会終了後、アルカディア市ヶ谷において「退任役員記念品贈呈式」及び「aoiroDX推進宣言式」を開催した。
- ③ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を行った上で、総会出席者及び少数の来賓による懇親会を同会場にて開催した。

(3) 名誉役員の委嘱

令和5年7月28日、第2回理事会を開催し、名誉役員選任案の承認を得て、相談役2人を委嘱した。

(4) 地区会合併に伴う手続き

令和5年5月30日、第1回理事会を開催し、地区会の合併に伴う必要な手続きが完了した旨を報告した。

4. 機関会議の運営

総会をはじめとした各種機関会議を、関係法令や定款及び諸規定に則り、招集手続き、会議の運営及び議事録等の作成、保存に至るまで、適正な運営を行った。

(1) 三委員会

委員会毎の所管事項に基づき、協議し、機関会議に提案した。詳細は「Ⅱ. 活動報告」参照。

(2) 企画室

常任役員会からの付託事項である「今後の東青連の均等割会費及び会員割会費のバランスについて」に係る協議を行い、常任役員会に答申した。また、委員提案事項についても検討した。

(3) IT室

地区会の青色申告会クラウドシステム導入支援を行い3会（都内2会、都外1会）が導入した。

同システムの普及策及びシステムの改良等について、協議を行った。詳細は「Ⅱ. 活動報告」参照。

(4) 専務・事務局長会議

① 専務・事務局長会議

東京国税局担当官の出席を得て開催した。諸課題に関する情報交換、意見交換及び三委員会等からの提案事項について、協議を行った。

また、東京国税局担当官より、消費税インボイス制度等に関する情報提供があった。

② 青色コーナー意見交換会

専務・事務局長会議担当常任役員、組織・広報委員会委員長及び各ブロック2人の専務理事・事務局長により、青色コーナー活動の現在と未来について意見交換し、前向きに臨む環境を整えるため、令和5年9月26日、青色コーナー意見交換会を開催し、意見交換の内容を機関会議に共有した。

- (5) 正副会長会議
専務・事務局長会議からの提案事項及び青色申告会の諸課題について、協議・承認した。
- (6) 常任役員会
専務・事務局長会議からの提案事項、正副会長会議からの提案事項及び青色申告会の諸課題について協議し、具体的な業務執行について承認した。
- (7) 理事会
東京国税局担当官の出席を得て開催した。
また、東京国税局担当官より、消費税インボイス制度等に関する情報提供があった。
- (8) 選挙管理委員会
令和6年度の役員改選を控え、令和6年2月7日、各ブロック1人の地区会副会長による選挙管理委員会を開催し、「会長候補者選任選挙実施要領(案)」を取りまとめ、機関会議に提案し、令和6年3月28日に開催された第4回理事会において承認を得た。

5. 新公益法人制度に対応した組織運営

- (1) 会長及び業務執行理事による職務執行状況報告
 - ① 令和5年5月30日、第1回理事会を開催し、会長及び業務執行理事による令和4年度の職務執行状況報告を、監査会報告とあわせて行った。
 - ② 令和5年12月20日、第3回理事会を開催し、会長及び業務執行理事による令和5年度上半期の職務執行状況報告を、監査会報告とあわせて行った。
- (2) 理事の競業又は利益相反取引の制限に係る承認手続き
(該当なし)
- (3) 令和5年度補正予算の理事会承認
令和5年7月28日、第2回理事会を開催し、東京国税局との記帳指導業務に係る契約の締結にともなう、令和5年度の補正予算について承認を得た。
- (4) 新任理事への資料配付
新任理事に対し、令和5年7月28日開催の第2回理事会において、公益法人運営に資する資料及び東青連の諸規定集を配付し、東青連運営に対する理解を促進した。
- (5) 情報公開
東青連ホームページを利用して、法人法に基づく「情報公開」を行った。
また、地区会のうち、ホームページ未開設1会の情報公開を東青連ホームページを利用して行った。

6. 諸規定の制定及び改定

(該当なし)

7. その他会務

(1) 能登半島地震に対する義援金活動

東青連共済会から提案があり、東青連及び東青連共済会が協同して、被災地への義援金を拠出し、全青色に送金した。

なお、東青連女性部においては、女性部員等を対象に義援金の募金活動を実施し、全青色に送金した。

(2) 役職員の地区会への派遣

地区会及びブロックからの依頼に基づき、地区会の総会及び賀詞交歓会、各種会議並びに確定申告期の業務支援に役職員を派遣した。

(3) 新型コロナウイルス感染症への対応

① 各種行事を事業計画どおり計画、実行した。

なお、地区会参加者の利便性の向上に資するため、会議や研修会の一部は、Web併用方式により開催した。

② 各種行事への参加に当たっては、地区会参加者に対し、感染症予防の基本的対策への協力を要請した。

II. 活動報告

1. 基本方針

東青連は、困難な状況にあっても地区会とともに会勢拡大を図り、申告納税制度及び青色申告制度の普及や、納税道義の高揚に資する事業を通じ、青色申告会とその会員の事業活動の発展への寄与に努めます。

新しい時代の青色申告会に向けて、情報通信技術を活用して、従来の対面・接触型と、非対面・非接触型の会活動の併存を図ります。

今年度も入会メリットのある青色申告会を目指し、地区会と協同して、次の施策を推進します。

2. 事業計画

(1) 会務

- ① 消費税インボイス制度等の広報及び会計ソフトの普及を通じて、更にe-Taxの推進に努めるとともに、正しい記帳と決算に取り組む「記帳指導の青色申告会」として、会員の記帳水準の向上運動を推し進めます。

【会務】

- 1) 会員指導における喫緊の課題である消費税のインボイス制度等に関する行政における情報を収集し、公文書、会議資料及び東青連ニュースを通じて地区会に提供した。
- 2) 地区会に対し、会員指導に資する各種税法等に関する書籍の取次ぎを行った。

- ② 税務当局との連携のもとに関係民間団体との協調を強め、納税者の税に対する理解を深める事業活動を展開します。

【会務】

- 1) 「東京国税局の記帳指導業務」を受託、契約し、地区会の担当者に対して「担当者説明会」を開催した。地区会は指導対象者への記帳指導を行うとともに、受講者の記帳慣行の定着を図った。
なお、地区会からの業務遂行上の質問、照会等に事務局が対応し、記帳指導業務の終了後に改善意見等の集約を行い、受託者の意見として東京国税局に要望書を提出した。
- 2) 事務局担当者が東京国税局や東京都主税局等の担当官との情報収集や意見交換を随時行った。
- 3) 「確定申告期の税務署表敬訪問」を令和6年2月から3月にかけて実施した。

- 4) 友誼団体の総会及び賀詞交歓会に役職員が出席し、協調関係の維持、継続に努めた。
- 5) 令和5年12月7日、京王プラザホテルにおいて、確定申告期を前に、納税者が適正な納税義務を果たすための支援を、それぞれの立場を尊重しつつ、税理士会と青色申告会との相互協力を確認しあうために、「東京税理士会との懇談会」を開催した。

③ 青色申告会クラウドシステムの地区会への普及を重点的に推進し、青色申告会のデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進にあたっては、業務の見直しとともに常に新たな施策を検討し、取り組みます。

【IT室】

- 1) 導入を希望する会に対するデータコンバート支援を行った。
 - a. データコンバート支援会
(一社) 葛飾会、(一社) 東村山会、(一社) 柏会 (千葉県)
 - 2) 導入会の状況は以下のとおり。
 - a. 令和5年度導入会
(一社) 葛飾会、(一社) 東村山会、(一社) 柏会 (千葉県)
 - b. 令和元年から令和4年度までの導入会
 - ・ 第1ブロック
(一社) 京橋会、(一社) 四谷会、(一社) 新宿会、(一社) 浅草会
 - ・ 第2ブロック
(一社) 北沢会、(一財) めぐる会
 - ・ 第3ブロック
(一社) 豊島会
 - ・ 第4ブロック
(一社) 荒川会、(一財) 足立会、(一社) 西新井会、(一社) 向島会、
(一社) 江戸川北会、(一社) 江戸川南会、(公社) 江東西会、
(一社) 江東東会
 - ・ 第5ブロック
(一社) 日野会、(公社) 武蔵府中会 合計20会
- *導入会同士の地区会合併（合併コンバート作業有）があったため、令和6年3月末時点の導入会は19会である。
- 3) 主に導入会を対象とする「情報交換会（25人参加）」を開催した。
 - 4) 継続的にシステムの改良について協議を行うとともに、導入会からの操作上の質問、照会等に対応した。

【会務】

- 1) 担当者が都外会を含むクラウドシステム未導入会に対して機能説明と導入勧奨を行った。
- 2) 「東青連ニュース」に「クラウドシステムの紹介」、「導入会インタビュー」記事を掲載（連載）した。
- 3) 青色申告会のデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進については、「I. 概況報告」参照。

④ 青年部、女性部は自主的な運営の中で、地区会青年部、女性部活動の情報共有と再活性化に努めます。

【青年部】

- 1) 令和5年5月16日、「通常代議員総会」をWeb併用方式により開催し（議決権行使書等含む58人参加）、事業報告書案及び決算報告書案を含む全議案の承認を得た。
- 2) ブロック内の情報交換を目的とした「夏のブロック会議」及び「冬のブロック理事会」を開催した。
- 3) 令和5年11月10日、青年部員同士の結束力強化を目的とした「青年部全員集合！」を開催した（52人参加）。
- 4) 東京都内の青年部の情報共有による活動の活性化を目的とした、「LINE公式アカウント」を活用し、地区会青年部員を中心とした登録者に適宜情報提供を行った。また、地区会からの依頼を受け、地区会青年部行事を案内し、参加者の募集に協力した。

【女性部】

- 1) 令和5年5月15日、「定時総会」を開催し（委任状含む57人参加）、役員補充選任案、事業報告書案及び決算報告書案を含む全議案の承認を得た。
- 2) ブロック内の情報交換を目的とした「ブロック定例会」及び「部長会議」を開催した。
- 3) 令和5年9月11日、「明治座観劇会」を開催した（60人参加）。
- 4) 東青連及び地区会の女性部活動の情報共有を目的とした「女性部ニュース第22号」を発行した。

【青年部・女性部】

- 1) 会員増強運動を支援することを目的として、青年部と女性部が協同して実施する合同企画について、それぞれの部において新たな企画を検討するため、協議の結果中止することとした。

⑤ 役職員の研鑽に資するため、各種の研修会を開催します。

【会務】

*各事業分野を参照

⑥ 東京地区連運営に中核的役割を果たし、各県連と協同し、研修会や広報展開に取り組むとともに、全青色事業に参画します。

【会務】

- 1) 東京国税局幹部との「連絡協議会」及び「意見交換会」を開催し、相互に連携協調を図った。[東京地区連]
- 2) 「令和5年東京地区ブロック大会」(当番県連:東青連)を開催した(240人参加)。あわせて、元防衛大臣森本敏氏による「記念講演会」を開催した。[東京地区連]
- 3) 地区会の指導経験の浅い職員を対象とした「税法初級コース職員研修会」を、Web併用方式により、東京国税局の協力を得て開催した(21人修了)。[東京地区連]
- 4) 確定申告期の会員指導に従事する職員を対象とした「特別研修会」を、Web併用方式により、東京国税局の協力を得て開催した(104人参加)。[東京地区連]
- 5) 広報施策の「青色申告啓発ポスター」及び配布用「三つ折りパンフレット」及び「青色申告のあらましパンフレット」等を作成し、神奈川県連、千葉県連及び山梨県連傘下の地区会に頒布した。[東京地区連]
- 6) (一社)全青色が主催する各種会議(Web開催を含む)において、役員が種々の提言を行った。[全青色]

【青年部】

- 1) 青年部員の研鑽と各県連傘下の地区会青年部の相互交流を目的とした「サマーセミナー」については、東青連が東京地区連「秋季合同合宿研修会」の当番県連を重複して担当することとなるため、協議の結果中止した。[東京地区連]
- 2) 令和5年12月9日、「秋季合同合宿研修会」(当番県連:東青連)を、「日帰り研修会」として開催した(21人参加)。[東京地区連]

【女性部】

- 1) 女性部員の研鑽と各県連傘下の地区会女性部の相互交流を目的とした「代表者研究集会」は、各県連女性部事業に専念するため中止した。[東京地区連]
- 2) 全青色女性部の「定時総会」(19人参加)、「春季リーダー研修会」(19人参加)及び「秋季リーダー研修会」(23人参加)に地区会女性部員が参加した。[全青色]

⑦ 青色申告会の将来のため、財政について検討します。

- 1) 常任役員会から企画室に対し、「今後の東青連の均等割会費及び会員割会費のバランスについて」の協議を付託し、答申を得た。
- 2) 答申について対応を協議し、現状どおりとすることとし、理事会に報告した。

⑧ 情報の保護を徹底し、法令遵守に努めます。

- 1) 各種会議や研修会等を Web 開催（併用開催含む）する場合、セキュリティ対策を講じて開催した。
- 2) 「東青連ネット」（イントラネット）の内容充実を図るとともに、取扱事業や会議等の資料をタイムリーに掲載し、地区会へ情報提供を行った。
- 3) 東青連ネットの「各会会報用掲示版」を運用し、地区会相互の情報共有の場を提供した。
- 4) 東青連ホームページに掲載する各種情報を随時更新し、納税者に対するタイムリーな情報提供を行った。
- 5) ホームページを開設していない地区会（1会）のため、東青連ホームページを利用した、法人法に基づく「情報公開」の支援を行った。
- 6) 「東青連ニュース」を地区会のイベント情報の取材や、「クラウド通信」の連載等を行い発行し、地区会に情報を提供した。

（2）組織・広報事業

会活動のDX化を見据え、非接触型の会員増強運動の構築を急ぎ、会員増強の重点要素である青色コーナーや秋の入会キャンペーンの展開強化について検討し、統一広報を展開します。

【組織・広報委員会】

- 1) 会勢拡大を達成した会はなかった。
- 2) 令和5年度「会勢拡大表彰基準」においては、機関会議における地区会からの提案に基づき、「秋の入会キャンペーン表彰」区分を新たに設定し、賀詞交歓会の席上、表彰した（20会）。

（一社）芝会、（一社）四谷会、（一社）浅草会、（一社）品川会、
（一社）荏原会、（一財）めぐろ会、（一社）中野会、（公社）杉並会、
（一社）練馬東会、（一社）練馬西会、（一社）豊島会、
（一社）荒川会、（一財）足立会、（一社）えどがわ会、
（公社）江東西会、（一社）江東東会、（一社）立川会、
（一財）八王子会、（一社）東村山会、（公社）武蔵府中会

- 3) 「会員増強年間計画のモデル期間」を設定し、地区会全会が展開することとした。
- 4) 地区会に対して具体的な「入会要素別獲得目標」の設定を求めるとともに、各会で共有した。
- 5) 令和5年8月30日、秋の入会キャンペーンにおける地区会、東京国税局と税務署における青色申告制度の普及推進に係る意思の統一を図り、会員増強運動に対する意識を喚起することを目的とした「青色申告普及・会勢拡大出陣式」を開催した。あわせて、広報展開における表現手法やリスクについて知識を深めるため、外部講師による「会勢拡大研修会」を開催した（局・署含む177人参加）。
- 6) 「地区会における出陣式」の開催を提案した。
- 7) 青色申告会の知名度向上と青色申告制度の普及推進のための「統一広報」を、東京青色申告会連合会共済会との合同広報施策として、地区会の地域広報用の青色申告啓発ポスターを作成し、地区会に提供した。加えて、漫画パンフレット及び漫画動画を作成し、データを地区会に提供した。
- 8) 毎年11月11日から17日を「青色申告を知る週間」として制定、ロゴマークを作成し、データを地区会に提供した。
- 9) 確定申告期の啓発ポスターを企画するに当たっては、「セリフコンテスト」を実施し、47作品の中から大賞を選考し、賀詞交歓会の席上、表彰するとともに、大賞作品のセリフを挿入した確定申告期の啓発ポスターを作成し、地区会に提供した。

なお、ポスターの作成に際しては、東京国税局による協力を得て「東京国税局・税務署」のロゴを表示した。

加えて、都内の税務署や都税事務所、日本政策金融公庫、信用金庫や信用組合等の金融機関の支店窓口におけるポスター掲示の依頼を行った。
- 10) 地区会の広報活動に利用するための「三つ折パンフレット」及び「青色申告のあらましパンフレット」等の各種広報グッズを作成し、頒布した。
- 11) 青色コーナー活動を充実させるため、ブロック別「局・署・会合同協議会」を開催した。

(3) 税制・政策事業

青色申告会とその会員の事業の発展に資する税制改正要望運動として、地方税や国税に対する運動を、地区会の会員も取込み、電子化策も併用して展開します。

また、税制を研究し、全青色に対する提言を行います。

【税制・政策委員会】

- 1) 消費税のインボイス制度を念頭に置いた、消費税に関する意見を含む、税制改正要望事項を取りまとめ、機関会議の承認を得て、全青色に提案し、その実現を要望した。
- 2) 固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続要望について取りまとめ、機関会議の承認を得て、地区会とともに都議会等への請願及び陳情運動を展開した。
- 3) 地区会の協力のもとで、会員による陳情はがき運動を電子的方法も含め展開した。
- 4) 「都民ファーストの会東京都議団」、「都議会公明党」及び「東京都議会立憲民主党」が主催した東京都予算等ヒアリングに出席し、固定資産税等の軽減措置の継続要望を行った。
- 5) 「東京都議会自由民主党」に対し、固定資産税等の軽減措置の継続要望書を提出した。
- 6) 「東京都」が主催した都知事ヒアリングに出席し、固定資産税等の軽減措置の継続要望を行った。

これらの運動の結果、令和6年度における軽減措置の継続が実現した。

- 7) 「自由民主党東京都支部連合会」が主催した国家予算・税制改正要望聴取会に出席し、国税に関する改正要望を行った。
- 8) 「全青色」が主催した国会議員への陳情活動及び税制改正要望集会に参加した。

【青色申告会東京連合会（東連）】

- 1) 各支部（地区会）からの依頼にもとづき、各種選挙における候補者への推薦状を作成し、支援した。
- 2) 東京都各種団体協議会（自民党東京都連）の各種会合に参加した。

(4) 事業・厚生事業

会員サービスの普及推進を通じて地区会の財政に寄与し、会員が入会メリットを感じられるよう、あらためて会員サービスの周知徹底と新時代の会員サービスの開拓に努め、普及推進を図る研修会等を開催します。

【事業・厚生委員会】

- 1) 関東自動車共済の普及のため、年間を通じた成約キャンペーンを実施した。
- 2) 三井住友トラストVISAゴールドカードの普及キャンペーンを実施した。
- 3) 令和5年8月2日、地区会職員を対象として、アフラック「介護保険」を含む「職員実務研修会」をWeb併用方式により開催した（56人参加）。
- 4) 「不動産所得会員向け研修会」は中止した。
- 5) 地区会会員に対するサービスとして、「ファストドクター」と提携し、夜間・休日の往診サービスを地区会に案内した。
- 6) 地区会会員に対するサービスとして、「住友不動産販売」及び「東急リバブル」と提携し、不動産売買における仲介手数料の優遇措置を地区会に案内した。
- 7) 地区会の協力を得て、次の事業の普及推進を行った。
 - a. 小規模企業共済の普及推進を行うとともに、「オンライン手続きに関する説明会」に担当者がWeb出席した。
 - b. 中小企業退職金共済の普及推進を行った。
 - c. 中小企業倒産防止共済の普及推進を行った。
 - d. 大樹生命の団体扱い等の普及推進を行った。
 - e. ミツウロコ電気・ガスの普及推進のため、成約キャンペーンを実施した。
- 8) 地区会会員の福利厚生の一環として、次の事業を継続して実施した。
 - a. 弁護士による法律相談を実施した。
 - b. 東京ディズニーリゾート特別利用券を希望する地区会に提供した。
- 9) ホームページにおいて東青連共済会との相互リンクを設定し、各種サービスの利用推進に協力した。

【会務】

- 1) 令和5年6月16日、青色ジョブカン会計ユーザー会定時総会をWeb併用方式で開催し（39人参加）、世話人会の選任、事業計画案を含む全議案の承認を得た。
- 2) 同日、Web併用方式で情報交換会を開催し（26人参加）、各種新機能について情報共有を行った。
- 3) 令和5年11月2日、Web併用方式によりジョブカン会計説明会及び青色ジョブカン会計ユーザー会を開催した（43人参加）。
- 4) 令和5年11月29日、Web併用方式により弥生会計説明会を開催した（45人参加）。